

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券・・・取得原価による。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当なし。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
該当なし。
- (4) 引当金の計上基準
該当なし。
- (5) リース取引の処理方法
該当なし。
- (6) 消費税等の会計処理
税込経理方式による。

2. 会計方針の変更

該当なし。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	0	0	0	0
定期預金	0	8,844,000	0	8,844,000
投資有価証券	300,000,000	0	8,844,000	291,156,000
小 計	300,000,000	8,844,000	8,844,000	300,000,000
特定資産				
記念事業積立資産	3,800,000	0	0	3,800,000
小 計	3,800,000	0	0	3,800,000
合 計	303,800,000	8,844,000	8,844,000	303,800,000

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
普通預金	0	0	0	0
定期預金	8,844,000	8,844,000	0	0
投資有価証券	291,156,000	291,156,000	0	0
小 計	300,000,000	300,000,000	0	0
特定資産				
記念事業積立資産	3,800,000	0	3,800,000	0
小 計	3,800,000	0	3,800,000	0
合 計	303,800,000	300,000,000	3,800,000	0

5. 担保に供している資産

該当なし。

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(直接法により減価償却を行っている場合)

該当なし。

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

(貸倒引当金を直接控除した残額のみを記載した場合)

該当なし。

8. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務

該当なし。

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

科 目	帳簿価格	時 価	評価損益
第255回日本高速道路保有・債務返済機構債	100,000,000	89,940,000	-10,060,000
第194回利付国債(20年)	200,000,000	184,246,000	-15,754,000
合 計	300,000,000	274,186,000	-25,814,000

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金						
地方公共団体補助金						
運営費	松戸市	0	44,699,782	44,699,782	0	
青少年姉妹都市派遣事業負担金	松戸市	0	1,965,402	1,965,402	0	
助成金						
民間助成金						
英語スピーチコンテスト	松戸ライオンズクラブ	0	100,000	100,000	0	
日本語スピーチコンテスト	市内5ロータリークラブ	0	50,000	50,000	0	
県緑化推進事業	千葉県緑化推進委員会	0	165,000	165,000	0	
松戸まつり	松戸まつり実行委員会	0	0	0	0	
合 計		0	46,980,184	46,980,184	0	

11. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当なし。

12. 関連当事者との取引の内容

該当なし。

13. 重要な後発事象

該当なし。

14. その他

特になし。